

# そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によって、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

## 2015(27)年 週 報

4月19日  
第3聖日  
第3400号

「両者とも一つとなる」

### 聖言

そのころのあなたがたは、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、約束の契約については外国人であり、この世にあって望みもなく、神もない人たちでした。エペソ2:12

礼拝の恵み 第二〇章  
第八節 礼拝の障害  
第二節 現世的であること  
高度の解脱に自己満足して、自分が謙虚であり、非現世的な態度であることをまったく自慢にしていることもある。現世的、というのは、それゆえ、外面的な行動にばかりでなく、思想と態度にもあらわれるものである。

思想が現世的であろうと、行動が現世できであろうと、そのどちらも信者が霊ともことをもって礼拝するのを妨げることだけは、たしかである。礼拝は現世的な雰囲気のみならず、おこなわれたい。その意味を信者が体験しようとするならば、闘争する。休まないこの世から高く、高く、神と共にひとりあれ。そうすれば、思想と態度と行為において非現実的であるとすることが、なにを意味するかを知るに相違ない。神と共に「ひとりある」前に、キリストが第一の者である事を否定するすべてのものから「外に出て」(ヘブル一三ノ一三)キリストのもとにいかねばならない。クルスチアンは「この世のもの」から離れてキリストと立場を同じくしなければならない。そしてこの離絶をつねに保持しなければならない。孤立と離絶とを混同してはならない。それはこの世とこの世の人々との一切の接触からはなれてしまうことではなくて、「世の汚れに染まずに」(ヤコブ一ノ二七) いることである。クリスチャンの離絶は、キリストに領有されている程度によって決定されるであろう。主イエスが信者の視覚を満たし、その思想を領有し、その言動を統制し、その心を飽かせる。(APギブス礼拝より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp